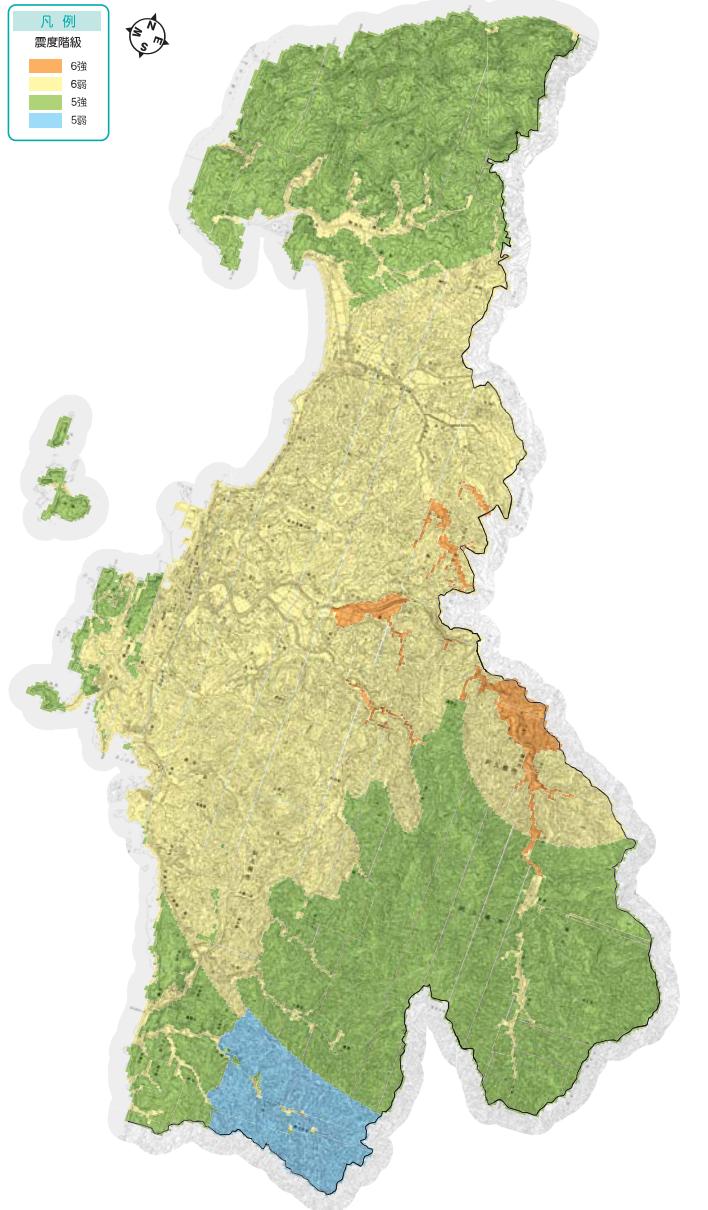


揺れやすさマップ

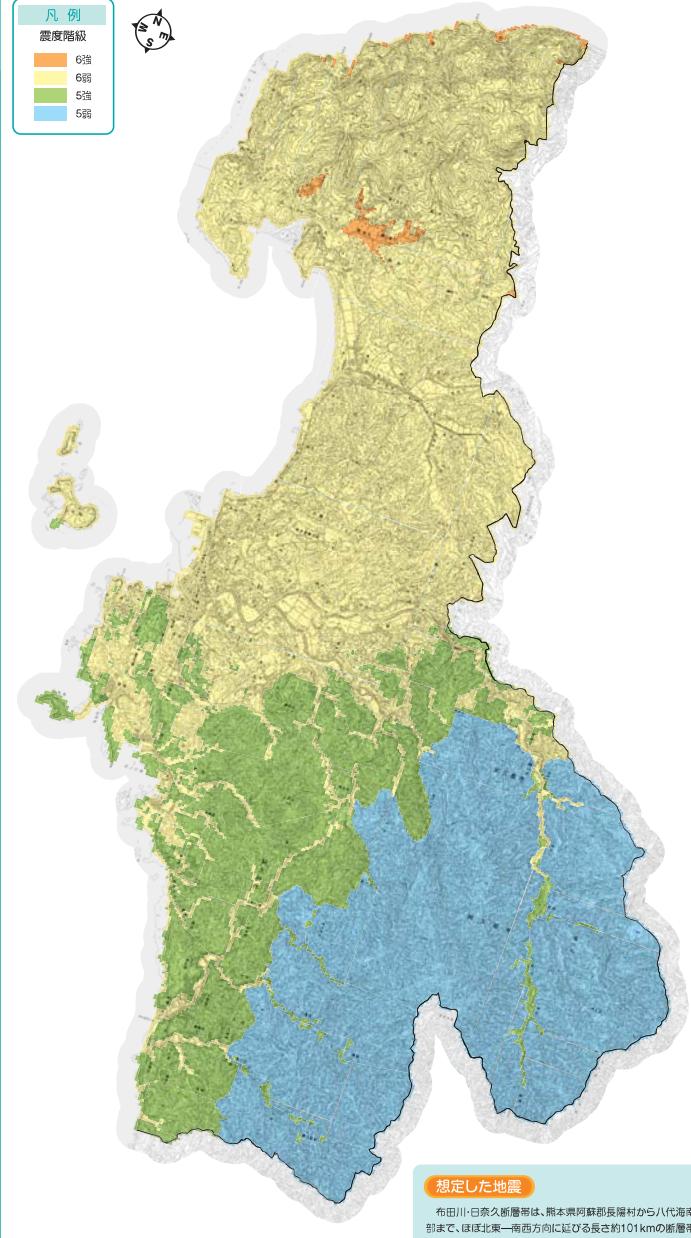
この「揺れやすさマップ」は、「出水断層による地震」と「布田川・日奈久断層による地震」が発生したときに予測される震度分布を、震度別に色分けをして示したもののです。
このマップをご覧になって、日頃からの地震に対する備えなどに役立ててください。

出水断層による地震



布田川・日奈久断層による地震

| 凡例 | |
|------|--|
| 震度階級 | |
| 6強 | |
| 6弱 | |
| 5強 | |
| 5弱 | |



想定した地震

出水断層帯は、出水山地の北西縁に沿って熊本県球磨市から鹿児島県出水市へ、ほぼ北東—南西方向に延びる長さ約20kmの断層帶です。地震調査研究推進本部による調査によれば、この断層帶による地震が今後30年以内に起る可能性は1%以下ですが、国内においては地震発生の確率が「やや高い」グループに分類されます。

この断層帶によってマグニチュード7.0の地震が発生した場合を想定し、震度予測を行いました。

想定した地震

布田川・日奈久断層帶は、熊本県阿蘇郡荒尾町から八代海側剖面まで、ほぼ北東—南西方向に延びる長さ約101kmの断層帶です。地震調査研究推進本部による調査によれば、この断層帶による地震が今後30年以内に起る可能性はほぼ0%~6%以下です。

この断層帶の中のおよび南西部が同時に活動し、マグニチュード7.0の地震が発生した場合を想定し、震度予測を行いました。

この地震は、国土交通省の楽度を得て、同様条件の地震が約577万件(98%前後)を算出したものです。

自助・共助

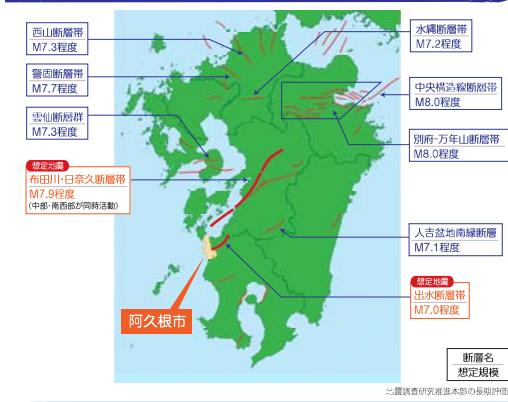
災害は、いつ・どこにやってくるかわかりません。大震震や豪雨などの自然災害は、人間の力では止めることができませんが、災害による被害は、日頃の備えによって減らすことができるのです。

自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」。そこが、災害時に被る甚少なきため大きくなることがあります。自分でできること・川家でできること・近くに協力してできることについて考え、いこ楙のかわらないう災害に備えておくことが大切です。

震度と揺れ等の状況(概要)

| 震度階級 | 人の体感・行動 | 室内の状況 | 木造建物(住宅) | 鉄筋コンクリート造建物 | 想定した地震 | |
|-----------------|------------------------------------|---------------------------------|---|---|----------------------|-----------------------|
| | | | | | 出水断層による地震 | 布田川・日奈久断層による地震 |
| 震度 5弱 | ○大半の人が、恐怖を感じ、物につかまつりたり感じます。 | ●電灯などのつけ下げ物は倒れても倒れ、倒れない場合があります。 | (耐震性が低い建物) 壁などに軽微なひび割れがみられることがあります。 | (耐震性が高い建物) 壁などにひび割れ・亀裂がみられることがあります。 | ●地震などの発生を察知することができる。 | ●地震などの発生を察知することができない。 |
| 震度 5強 | ○大半の人々が、物につまづくことが難しいなど、行動に支障を感じます。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 | (耐震性が低い建物) 壁などにひび割れ・亀裂がみられることがあります。 | (耐震性が低い建物) 壁、梁(はり)、柱などの倒れ、ひび割れ・亀裂が入ることがあります。 | ●立つのが困難になります。 | ●立つのが困難になります。 |
| 震度 6弱 | ○立つのが困難になります。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 | (耐震性が低い建物) 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがあります。 | (耐震性が低い建物) 壁、梁(はり)、柱などの倒れ、ひび割れ・亀裂が入ることが多くなる。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 |
| 震度 6強 | ○立つのができず、はかないなど、歩くことができなくなる。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 | (耐震性が低い建物) 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることが多くなる。 | (耐震性が低い建物) 壁などに軽微なひび割れ、亀裂が入ることがある。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 | ●倒れた物を踏み鳴らす音が多くなる。 |

九州地方の活断層



自分たちのまちは自分たちで守る 共助

| 家族会議 |
|---|
| 家族の回りで、隣近所、隣接施設のつながり、家族間の連絡方法などを確認しましょう。 |
| わが家の安全点検 |
| 家の周囲のガス漏洩の警報装置などを身近な空間の安全点検をしましょう。 |
| 非常持出品・備蓄品のチェック |
| 避難用具や出火用非常用品、救援活動が受けられるまでの備蓄三品、家族構成に合わせて用意しておきましょう。 |



九州地方で発生した主な被害地震

| 発生年日時 | マグニチュードM | 震源地 | 人的被害 | 物的被害 | 最大震度 |
|-------------|----------|----------------|--------------|----------------------|------|
| 平成9年9月9日 | 5.8 | 稚子島近海 | 負傷者1 | 住家半壊2一部破損12棟など | 4 |
| 平成9年3月26日 | 6.6 | 鹿児島県霧島地方 | 負傷者37 | 住家全壊4半壊34 | 5弱 |
| 平成9年5月13日 | 6.4 | 鹿児島県霧島地方 | 負傷者74 | 住家全壊4半壊31 | 6弱 |
| 平成12年6月8日 | 5.0 | 熊本県熊本地方 | 負傷者1 | 住家一部破損5など | 5弱 |
| 平成16年12月14日 | 6.1 | 霧島市吉松地区 | 負傷者6 | 住宅一部破損165棟 | 5弱 |
| 平成17年3月20日 | 7.0 | 福岡県西方沖(福岡市西方沖) | 死者1 負傷者1,204 | 住家全壊144棟(住家半壊353棟など) | 6弱 |
| 平成17年6月3日 | 4.8 | 熊本県天草・芦北地方 | 負傷者2 | — | 5弱 |
| 平成18年6月12日 | 6.2 | 大分県西部 | 負傷者8 | 住家一部破損5棟 | 5弱 |
| 平成19年6月6日 | 4.9 | 大分県中部 | 負傷者1 | 水道管漏水3戸 | 4 |

自分たちのまちは自分たちで守る 共助

| 自主防災組織 |
|---|
| 災害訓練などに積極的に参加し、地域のみなさんが互いに連携してできる体制を整えましょう。 |
| 防災まち歩き |
| まちのなかの危険な場所を知り園に書きこみ、ご近所の防災力向上を目指しましょう。 |
| 災害時要保護者に心遣りを |
| 高齢者や妊婦、体の自由な人など災害時に支援が必要な人がどこにいるかを把握し、地域ぐるみで助け合いましょう。 |

